令和5年5月25日

令和5年 第5回

東大和市教育委員会定例会会議録

東大和市教育委員会

令和5年第5回東大和市教育委員会定例会会議録

1. 日 時 令和5年5月25日（木曜日）午後2時00分～午後2時35分

2. 場 所 東大和市役所会議棟第6・第7会議室

3. 出席委員 1番 岡田博史（教育長）

2番 岩田圭子

3番 藤宮志津子

4番 内野裕子

5番 鈴木一徳

4. 欠席委員 なし

5. 説明職員

教育部長 小 俣 学

教育部参事兼
教育指導課長

小 野 隆 一

教育総務課長 斎藤謙二郎

新校開設
担当課長

大 野 祐 司

学校施設更新
等担当課長 中 橋 健

指導担当課長
（統括指導
主 事 ）

菅 野 恭 子

生涯学習課長 岩野秀夫

中央公民館長

伊 藤 智

中央図書館長 浴 靖 子

6. 書 記

庶務係長 長瀬由美子

主 事 浅井亮介

○議事日程

- 第 1 会議録署名委員の指名
- 第 2 教育長諸務報告
- 第 3 第 13 号報告 事務の臨時代理の承認について
- 第 4 第 14 号報告 事務の臨時代理の承認について
- 第 5 第 28 号議案 東大和市文化財専門委員の委嘱について
- 第 6 第 29 号議案 東大和市立公民館運営審議会委員の委嘱について
- 第 7 その他報告事項
 - (1) 令和 5 年度校内別室指導支援員配置事業実施要綱(案)について
 - (2) 令和 6 年度使用東大和市立小学校及び小・中学校特別支援学級用教科用図書採択について
 - (3) 令和 5 年度学びあいガイド(行政による生涯学習案内)の発行について
 - (4) 中央図書館会議室の試行的開放について

◎開会の辞

- 岡田教育長 では、定刻になりました。こんにちは。
ただいまから、令和5年第5回東大和市教育委員会定例会を開催いたします。

◎日程第1 会議録署名委員の指名

- 岡田教育長 日程第1、会議録署名委員の指名を行います。
会議録署名委員は、鈴木委員をお願いいたします。
- 鈴木委員 承知しました。

-
- 岡田教育長 ここで傍聴の許可についてお諮りいたします。
本日の会議について、傍聴を許可することにご異議ございませんか。
(「異議なし」と呼ぶ者あり)

- 岡田教育長 では、ご異議なしと認め、傍聴を許可いたします。

◎日程第2 教育長諸務報告

- 岡田教育長 日程第2、教育長諸務報告を行います。
本日差し替えて諸務報告が出ておりますので、ご覧ください。
- 4月26日、水曜日、学校と東大和警察署の連絡会に出席をいたしました。
- 4月27日、木曜日、教育委員会定例会に出席をいたしました。そして、総合的な学習の時間研修会にも出席をいたしました。
- 4月28日、金曜日、第三小学校、第六小学校、第三中学校を訪問いたしました。
- 4月30日、日曜日、東大和市文化協会総会に出席をいたしました。
- 5月1日、月曜日、市長就任記者会見に出席をいたしました。
- 5月2日、火曜日、新型コロナウイルス感染症対策本部会議に出席をいたしました。
- 5月8日、月曜日、市長・教育委員懇談会に出席をいたしました。
- 5月9日、火曜日、関東地区都市教育長協議会総会に出席をいたしました。この総会においては講演会がございまして、講演会では「AIに負けない子どもを育てる」という演題で、新井紀子氏のお話を伺うことができました。今後の東大

和市の教育を充実させていくために大変ためになるお話を伺うことができ、本日の校長会でも少しそのことについて触れたところでございます。

5月10日、水曜日、関東地区都市教育長協議会分科会に出席をいたしました。この分科会におきましては、群馬県の館林市の不登校対策のことについての発表を聞くことができ、こちらも本市の教育について参考となる発表を聞くことができ、また今後に生かしていきたいと思いました。

同日の午後、TOKYO GLOBAL GATEWAY、TGGと呼ばれるものですがけれども、こちらの内覧会に出席をいたしました。その施設の中では、全て子どもたちが英語だけで体験をするというようなそういう施設でございまして、こちらのほうも今後の東大和市の教育にとっても参考になる、そういう施設であったと思っております。

5月11日、木曜日、東大和市教育委員会いじめ問題対策委員会に出席をいたしました。

5月13日、土曜日、令和5年度 第9回うまかんべえ～祭に出席をいたしました。久々の開催で、延べ5万人以上来場したということで、大変にぎわっておりました。すばらしいお祭りになったと感じました。

5月13日、土曜日、うまかんべえ～祭の後、スポーツ協会通常総会に出席をいたしました。

5月14日、日曜日、ボーイスカウト育成会総会に出席をいたしました。

5月16日、火曜日、社会教育委員会議に出席をいたしました。

5月18日、19日、木曜日から金曜日、全国都市教育長協議会（帯広大会）に出席をいたしました。こちらは全国の教育長が集まり発表などをする協議会でございまして、発表も教育行財政のこと、特に学校再編成のお話であったり、また学校教育についての取組の発表や学力向上についてなど、そして生涯学習のこと、例えば市民大学のことやそういうことについての発表など、市全体のことや、当然東大和市の教育に関することについても大変参考となるお話を伺うことができました。

5月20日、土曜日、東久留米市立小山小学校運動会に出席をいたしました。そして、第31回わんぱく相撲東大和場所に出席をいたしました。

以上でございます。

教育長諸務報告が終わりました。

ただいまの報告につきまして、ご質疑等ございましたらご発言をお願いいたします。

よろしいですか。

(発言する者なし)

○岡田教育長 では、教育長諸務報告を終わります。

◎日程第3 第13号報告 事務の臨時代理の承認について

◎日程第4 第14号報告 事務の臨時代理の承認について

○岡田教育長 日程第3、第13号報告 事務の臨時代理の承認について、そして日程第4、第14号報告 事務の臨時代理の承認について、以上2件は関連がございますので、一括して議題に供します。

報告の説明をお願いいたします。

教育部参事。

○小野教育部参事兼教育指導課長 ただいま議題となりました第13号報告及び第14号報告 事務の臨時代理の承認についてにつきましては関連がありますので、一括して提案理由並びに内容のご説明を申し上げます。

第13号報告及び第14号報告とも、東大和市学校運営協議会委員の交代に伴うものであります。

内容につきましてご説明申し上げます。

東大和市立第四小学校、第九小学校、第二中学校、第五中学校の団体役員の交代などにより、委員の解任及び任命をするものであります。

この件につきましては、東大和市教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則第3条第1項の規定に基づき、解任及び任命につきまして、令和5年5月1日付で事務の臨時代理を行いましたので、同条第2項の規定によりご報告し、ご承認をお願いするものであります。

以上でございます。よろしくをお願いいたします。

○岡田教育長 説明が終わりました。

ご質疑があれば、ご発言をお願いいたします。

よろしいでしょうか。

(発言する者なし)

○岡田教育長 質疑を終了いたします。

お諮りいたします。

第13号報告 事務の臨時代理の承認について、本件を承認することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○岡田教育長 ご異議なしと認め、さよう決めます。

引き続きお諮りいたします。

第14号報告 事務の臨時代理の承認について、本件を承認することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○岡田教育長 ご異議なしと認め、さよう決めます。

◎日程第5 第28号議案 東大和市文化財専門委員の委嘱について

○岡田教育長 日程第5、第28号議案 東大和市文化財専門委員の委嘱について、本件を議題に供します。

議案の説明をお願いいたします。

教育部長。

○小俣教育部長 ただいま議題となりました第28号議案 東大和市文化財専門委員の委嘱についてにつきまして、提案理由並びに内容のご説明を申し上げます。

本件は、現委員の任期が本年6月30日をもって満了となりますことから、東大和市文化財専門委員の設置に関する条例第3条第2項の規定に基づき、学識経験者の中から委員を委嘱するものであります。

ご提案いたしました次期委員につきましては、お手元の議案書に記載のとおり9人の方でございまして、9人とも再任となっております。

任期につきましては、令和5年7月1日から令和7年6月30日までの2年間でございます。

説明は以上でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

○岡田教育長 説明が終わりました。

ご質疑があれば、ご発言をお願いいたします。

よろしいですか。

(発言する者なし)

○岡田教育長 質疑を終了いたします。

お諮りいたします。

第28号議案 東大和市文化財専門委員の委嘱について、本件を承認することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○岡田教育長 ご異議なしと認め、さよう決めます。

◎日程第6 第29号議案 東大和市立公民館運営審議会委員の委嘱
について

○岡田教育長 日程第6、第29号議案 東大和市立公民館運営審議会委員の委嘱について、本件を議題に供します。

議案の説明をお願いいたします。

教育部長。

○小俣教育部長 ただいま議題となりました第29号議案 東大和市立公民館運営審議会委員の委嘱についてにつきまして、提案理由並びに内容のご説明を申し上げます。

東大和市立公民館運営審議会委員の任期が本年5月31日をもちまして満了となりますことから、新たに6月1日からの任期となります委員の委嘱につきましてご提案申し上げます。

内容につきましてご説明申し上げます。

学識経験者の増本佐千子氏、佐々木辰彦氏以外の委員につきましては、それぞれの所属団体からの推薦によるものであります。

また、委員のうち再任の方は、岩崎浩示氏、津嶋朗子氏、若野雅實氏、相澤富夫氏、新井純孝氏、豊田誠氏、佐々木辰彦氏の7名であり、そのほかの方は新任でございます。

説明は以上でございます。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

○岡田教育長 説明が終わりました。

ご質疑があれば、ご発言をお願いいたします。

よろしいでしょうか。

(発言する者なし)

○岡田教育長 それでは、質疑を終了いたします。

お諮りいたします。

第29号議案 東大和市立公民館運営審議会委員の委嘱について、本件を承認することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○岡田教育長 ご異議なしと認め、さよう決します。

◎日程第7 その他報告事項

○岡田教育長 日程第7、その他報告事項を行います。

報告事項(1) 令和5年度校内別室指導支援員配置事業実施要綱(案)について、本件の報告をお願いいたします。

教育部参事。

○小野教育部参事兼教育指導課長 それでは、その他報告資料(1)をご覧ください。

本要綱は、東大和市立小・中学校に係る不登校及び不登校傾向の児童・生徒の教室以外の居場所である校内サポートルームにおいて、児童・生徒一人一人の状況に応じた支援を行うために校内別室指導支援員を配置することに関しまして、必要な事項を定めるものでございます。

校内別室指導支援員を配置することで、校内の別室であれば登校できる児童・生徒に対して、安心し、自己存在感や充実感を感じられる場所を校内に設置できるよう進めてまいります。このことに伴い、実施要綱を制定するものであります。

説明は以上でございます。

○岡田教育長 報告が終わりました。

ご質疑がございましたら、ご発言をお願いしたいと思います。

内野委員。

○内野委員 この支援員の方は、1校につき何名ぐらい採用といたしますか、お願いする予定でしょうか。

○岡田教育長 教育部参事。

○小野教育部参事兼教育指導課長 こちらの支援につきましては、小学校が第五小学校、中学校が第三中学校の2校予定しておりまして、それぞれ1名ずつ配置をする予定でございます。

以上でございます。

○内野委員 ありがとうございます。

○岡田教育長 ほかにはいかがでしょうか。

私のほうから資格というところで、小学校一種、二種の全科免許状、また中学校の教諭一種、二種免許状というその支援員も免許を持っていないといけないというところなんですけれども、小学校は小学校の免許、中学校は中学校の免許ということで、やはりどんな免許でもいいというわけではないという捉えでしょうか。

教育部参事。

○小野教育部参事兼教育指導課長 いずれかの資格を有する者ということでございますので、小・中どちらかを持っていればという形で採用していきたいと思っています。

○岡田教育長 分かりました。では、免許をとにかく持っていれば、支援員として採用が可能ということの認識となりますか。

人員を確保することというのは、なかなか難しいところでしょうか。

教育部参事。

○小野教育部参事兼教育指導課長 教育長のおっしゃるとおり、今年度、小学校の教員の確保というところで、全都的に不足している状況でございます。教員の資格が必要となった場合に、人を集めるとなると非常に今厳しい状況ではありますが、本市におきましては、今対象の人をお呼びできるような状況で手はずを進めているところでございます。

以上でございます。

○岡田教育長 分かりました。

ほかいかがでしょうか。

引き続きで申し訳ございませんが、不登校のことについては、今非常に全都的に、全国的にも課題になっているところで、別室での登校で支援をするにあたりまして、その支援員が免許を持っていれば誰でもいいというわけではなくて、心理的にケアが必要であったりとか、その子の学びを個々に応じて支援をしていかなければならないというふうに感じたときに、その支援員の資質や能力というものについては、やはり非常に大事な部分であるというふうには感じるところです。支援員を選定する際には、どこに配置するに当たっても、当然面接や必要な手続は踏むわけですが、やはりその配置をされた後も支援員だけに任せるということではなくて、教育委員会としても、その様子であったりとか、どのような

支援をしてくださっているかとか、そういう連携は必要になってくるというふうに思うところです。どれだけの人数が集まるかというのは分からないですけども、ぜひそういうところを大事にしながら、この事業を進めていけるとよいのではと思うところでありまして、意見でございます。

教育部参事。

○小野教育部参事兼教育指導課長 教育長のおっしゃるとおり、非常に多様なお子様を対応していくというところで、この支援員については、非常に適正、資質・能力が求められると考えております。

本市におきましては、校内ではない別の場所にサポートルーム等ありまして、そちらのノウハウも生かしながら、そちらとも連携を取りながら質の高い指導ができるよう取り組んでまいりたいと考えております。

以上でございます。

○岡田教育長 ぜひお願いいたします。

ほかにはいかがでしょうか。よろしいですか。

(発言する者なし)

○岡田教育長 それでは、質疑を終了いたします。

続きまして、報告事項(2)令和6年度使用東大和市立小学校及び小・中学校特別支援学級用教科用図書採択について、本件の報告をお願いいたします。

指導担当課長。

○菅野指導担当課長 私からは、令和6年度使用東大和市立小学校及び小・中学校特別支援学級用教科用図書採択についてご報告をいたします。

本件については資料はありません。口頭での報告となります。

先日、第1回の資料作成会議と第1回の調査部会を開催いたしました。

第1回の資料作成会議は、5月19日、火曜日を開きまして、小学校管理職12名、中学校校長1名と市民を代表して保護者2名に委員の委嘱を行いました。

次に、第1回調査部会は、5月23日、火曜日を開きました。小学校調査部会は調査・研究の対象となる11の教科等部会があり、各部会は管理職1名、教員10名、市民を代表して保護者1名で構成されております。よって全ての部会の人数としましては、管理職11名、教員110名、保護者11名の計132名に委嘱をいたしました。

小・中学校特別支援学級用教科書調査部会については、特別支援学級設置校の小学校2校、中学校2校からそれぞれ管理職、教員、そして市民の代表となる保

護者を1名ずつ、計12名に委嘱いたしました。

今後は、調査部会において調査・研究を進めるとともに、資料作成会議において調査部会から提出される報告についての調査及び協議を行うなど審議をまとめまして、教育委員会への報告を進めてまいります。

私からは以上です。

○岡田教育長 報告が終わりました。

ご質疑があれば、ご発言をお願いいたします。

私のほうから調査部会の先生方というところで、小学校においては小学校の教科書ですから小学校の先生が各教科ごとに各々の調査部の部員になるわけですが、その専門性というのはどのように選ばれてくるのでしょうか。

指導担当課長。

○菅野指導担当課長 これは各学校の校長から推薦をされて、調査部会の教員という流れで最終的にはなりますけれども、小学校教員は全教科免許を持って全科指導ができるようになっておりますが、その中でもそれぞれの教科等を担当としている教員がおりまして、教員になってからもその担当している教科等を中心に研究しております。そういったことも踏まえて学校から推薦されてきている教員と認識しております。

以上です。

○岡田教育長 ありがとうございます。

ほかにはご質問、ご質疑よろしいですか。では、よろしいでしょうか。

(発言する者なし)

○岡田教育長 それでは、質疑を終了いたします。

続きまして、報告事項(3)令和5年度学びあいガイド(行政による生涯学習案内)の発行について、本件の報告をお願いいたします。

生涯学習課長。

○岩野生涯学習課長 それでは、私から令和5年度学びあいガイド(行政による生涯学習案内)の発行について、ご報告申し上げます。

皆さまの机上に本ガイドをお配りさせていただいております。

こちらは、この5月に発行いたしまして、各公共施設等に設置させていただき、配布をさせていただいております。

記載内容につきましては、市民の学習活動の一助となるよう、市や社会福祉協

議会、その他の団体等が主催する事業をご紹介します。また、ひがしやまと出前講座「多摩湖塾」につきましても、申込み方法、講座一覧等を記載しておりますのでございます。

詳細につきましては、本学びあいガイドをご覧くださいませようお願いいたしまして、またご活用いただけるようでしたらお願いしたいと考えております。

報告としては以上となります。よろしくお願ひ申し上げます。

○岡田教育長 報告が終わりました。

ご質疑があれば、ご発言を願ひいたします。

岩田委員。

○岩田委員 今は何でもホームページを見てくださいますという時代に、このように紙の資料として出していただけると、市民の方もゆっくり目にすることができるので、これは続けていただきたいというふうに私自身は思います。

以上です。

○岡田教育長 よろしいですか。

生涯学習課長。

○岩野生涯学習課長 学びあいガイドにつきましては、これ以外にも例年8月に市民によるこういう生涯学習案内の冊子を出しておりますので、来年度におきましても、どういう内容については改めて検討したいと考えておりますので、意見として頂戴いたします。

以上でございます。

○岡田教育長 ほかにいかがですか。

すみません。これはどこで市民は手に入れられるんですか。

生涯学習課長。

○岩野生涯学習課長 基本的には、市の生涯学習課の窓口ですとか、各公民館、センターのほうでお配りさせていただいているものでございます。

以上でございます。

○岡田教育長 分かりました。ありがとうございます。

よく見ると、とても分かりやすく、活用できるものであると思います。ありがとうございます。

ほかにいかがですか。よろしいですか。

(発言する者なし)

○岡田教育長 それでは、質疑を終了いたします。

続きまして、報告事項（４）中央図書館会議室の試行的開放について、本件の報告をお願いいたします。

中央図書館長。

○浴中央図書館長 それでは、その他報告の資料の（４）中央図書館会議室の自習室開放（試行）についてをご覧ください。

中央図書館では、平成27年度の12月より会議室を学生等の実習室として試行的に開放しております。毎年、夏季と冬季に行っておりますが、令和4年度冬季について、試行の結果がまとまりましたのでご報告いたします。

試行期間につきましては、1にありますとおり、令和4年12月3日から令和5年3月26日までのうち、休館日及び図書館事業実施日を除く土曜、日曜日及び小・中学校冬季休業期間ということで、延べ24日間実施いたしました。

延べ利用者数でございますが、3にありますとおり115人で、一日平均約6人のご利用がありました。

最も利用者が多かったのは、6にありますとおり、一日に10人のご利用があった日が1回ありました。逆に最も利用者が少なかったのは、7にありますとおりゼロ人、つまりどなたもいらっしゃらない日が1回ありました。平均の利用率は約13%でした。コロナ禍が落ち着きを見せてきたこともあり、令和3年度の冬季よりは利用が増えてきたというふうになっております。

実習室のほうは、中央図書館の会議室を開放して行っておりますが、会議室の外の2階ロビーのほうにも、フリースペースとして机と椅子を12席ほど通年で設置しております。こちらの利用も次第に定着してきているかと感じておるところでございます。

以上で報告を終了いたします。

○岡田教育長 報告が終わりました。

ご質疑があれば、ご発言をお願いいたします。

内野委員。

○内野委員 利用対象者についてですが、進学希望の方と資料に文言がついているんですけども、先日、テレビで大人の方も今資格取得のために勉強される方が多くいらして、新宿とかではカフェがついた勉強スペースというものを提案している場所が幾つもあるとありました。確かに大人が勉強するスペースはなかなか

ないかと思いましたが、資格取得など何らかの目的がある方にも開放できる場があるといいのではと少し思いました。

以上です。

○岡田教育長 中央図書館長。

○浴中央図書館長 こちらで想定している進学希望というのは、いわゆる浪人生ですとか、高校生でもない大学生でもないけれども進学希望という方を想定しておりますが、もちろん大人の方でもこれから大学を受験したい方や社会人大学院に入りたい方がいらっしゃいましたら、それは認めております。そのほかの大人の方の勉強や最近ではテレワークとかも増えてきておまして、そちらは図書館で受け入れるのが適当かどうかという議論もありますので、まずは学生を優先して取り組んでいこうということで試行を続けているところでございます。

以上でございます。

○岡田教育長 教育部長。

○小俣教育部長 平成27年度から始めたときに、当初は東大和の子どものための学力向上に資すると、そういう考え方がありまして、まず始めてみようということで自習室として開放した経過がございます。割と定着してきたような感はあります。

以前にも教育委員さんよりいつまで試行しますかというようなお尋ねがあったような覚えがありますけれども、もう随分長く試行してきていますので、そろそろどうするか判断をしなければいけない時期に来ているということは考えております。そういうときには、対象とか、それから期間といいますか時間とか曜日とかいろいろなことも考えて決めていくつもりでございますけれども、学習室もいろいろなことに平日も使ったりしていますので、今図書館の中ではレファレンス室の利用はどうでしょうかとかいろいろな話も出ていますので、そろそろその辺の集約をして、試行を本格実施に向けて、また話が進みましたら教育委員の皆さまにはお知らせして、進めてまいりたいと思っております。

以上でございます。

○岡田教育長 よろしいでしょうか。

私から、市外利用者、この市外の利用の方というのは、やはり本市の図書館の図書館利用カードを持っている方ということの認識ですか。そうすると、例えばこの間、小平市と提携を結びましたけれども、小平市でカードを持っている学生と

かも利用できるということですか。

中央図書館長。

○**浴中央図書館長** 今おっしゃったとおりでございます、まずは東大和の図書館の登録の資格がある方ということで、広域利用の提携というか、相互利用を行っている東村山市、武蔵村山市、立川市、そして今週から小平市の方がカードを作ってください。もしくは、市外であっても例えば東大和高校に通っていらっしゃるとかということであれば登録ができますので、もしかしたらそういう方もいらっしゃるかもしれません。そういう方がご利用になれます。

以上でございます。

○**岡田教育長** ありがとうございます。

ほかにはいかがですか。よろしいですか。

(発言する者なし)

○**岡田教育長** それでは、質疑のほうを終了いたします。

◎閉会の辞

○**岡田教育長** 以上をもちまして、本日予定しておりました議事日程は全て終了いたしました。

これをもちまして令和5年第5回東大和市教育委員会定例会を閉会とさせていただきます。

大変お疲れさまでした。

午後 2時35分閉会

以上の会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため、ここに署名する。

東大和市教育委員会教育長 岡田 博史

会議録署名委員 鈴木 一徳